



ほかほかドキュメンテーション 1月



楽しいことでいっぱいになりますように。

あけましておめでとうございます。昨年末には、新型コロナウイルス感染者が急増したことでさまざまな制限がかかり、おじいちゃん、おばあちゃんにも会えず、いつもとは違う静かなお正月を過ごされたことでしょうか。ゆっくりと流れるお家時間の中で、お子さんの成長を感じられた方もいらっしゃるでしょう。お休みの間、体調を崩されたり、県をまたいで移動した、などがある方は、報告をしていただくと助かります。園でもお子さんの体調の変化に留意していきます。

昨年末に、加湿のために保育室に干してあるたくさんタオルを見て、2歳児さんが、「どうしてラーメン屋さんみたいになってるの?」と、かわいい質問をしていました。のれんのように見えたのでしょうかね。赤ちゃんたちも、非接触型体温計で熱を測ろうとすると、おでこをひょいっと差し出したり、小さな手にアルコール消毒液をすりすりすりこむことが上手になってきています。可愛い仕草におもわず笑顔になりますが、コロナ禍の中で身についたことで、せつなくもあります。かけがえのないたった一つの命と、かわいい子どもたちの笑顔、大人が大切に守っていかなければならないと強く思っています。

これだけ、感染者が増えてくると、気を付けていても、いつ園の中に新型コロナウイルスが入ってきてもおかしくない状況です。もし、感染者がでて、マスク対応、換気、消毒などを徹底していれば、2~3日程度の休園で済むとも言われていますが、みなさまの仕事にできるだけ影響が出ないように、また、クラスターを起こさないようにと思っています。保護者の皆様にはいつもご協力をいただいておりますが、濃厚接触者となりPCR検査を受けたり、職場や家族に感染者が出たなどのときは、報告をお願いいたします。

今月は幼児クラスの「生活発表会」があります。ホールに練習を見に行くと、3歳児さんが遊戯を踊っていて、舞台の上で「私を見て!」と言わん

ばかりに、所狭しとびよんびよんとジャンプしていました。元気いっぱい自信満々な姿がとても可愛いですよ。楽しみですね。4歳児さんは劇の練習をしていて、「せ〜の。」と言って息を合わせたり、並び方を教え合ったりしている様子などから、自分だけではなく、友だちと合わせることに配慮できるようになっていると頼もしく感じました。そして、5歳児年長組さんは、今までのたくさんのおそびの経験の中から、みんなでやりたいことの見出し合い、保育園生活最後の発表会に向けて楽しく準備を進めています。共に過ごしてきた中で、仲間への信頼感が深まっているときだからこそ、発表会という大きな目標に向けて、みんなで力や知恵を出し合い、共通のイメージを共有していっているようです。踊りやセリフ、道具などを決めていくというプロセスの中で、思いが違っても、互いの意見を聞きながら、ますます協力している様子が伺えます。子どもたち同士が、ある方向に向けて協働できるようになるということが、学習に向けての始まりとも言われています。まさに、小学校への学びへと続く主体的な姿ですね。このたくましく育った姿の原点は、やはり、乳児期にあります。赤ちゃんの時から心を揺さぶられるような楽しい経験や、回りの大人にしっかり可愛がられ、受け止めてもらう中で、大人に対する信頼と安心感を得ることが基盤となります。今を大切に。

生活発表会は、同居のご家族のみの観覧とさせていただきます。マスクでの参加はもちろんのこと、会場は、換気のために窓を開けていますので暖かくしてお越しください。例年、異年齢でのプログラムとなっていましたが、今年度は学年ごとの入れ替え制となります。

今年も子どもたちを真ん中に、皆さんと一緒に楽しく元気な一年になりますように。そして、マスクなしで、たくさん笑える日が一日も早くきますように。園長

日頃から公園や屋上で縄跳びあそびを楽しんでいる子どもたち。12月に入ってしろうぐみさんは“なわとび頑張り表”を一人ずつに作り、チャレンジするごとに先生に丸をつけてもらっていました。しろうぐみのRちゃんは最初お友達が上手に跳んでいるのを見て、やりたいと一緒に遊んでいましたがなかなか上手に跳べず、悔しい思いをしていました。縄跳び表をきっかけに毎日あきらめずコツコツと取り組み、先生に教えてもらいながら繰り返すうちにコツを掴み、今では後ろとびも跳べるようになりました。そのことをみんなの前で披露する機会をつくり、みんなに認められたことからさらに自信がつき、今では縄跳びだけに限らず、みんなの前で大きな声で発表できるようになったり、剣道でも大きな声が出るようになったりなど、さまざまな場面で積極的な面が見られるようになりました。



なわとび、たのし〜い

みんなで真剣に話し合い中です



そんなしろうぐみさんの取り組みを下のクラスのお友だちも毎日見ていたことや、先日体操教室で全クラス縄跳びの跳びかたを体操の池田先生に教えてもらったことをきっかけに、他の学年の子どもたちの間でも縄跳びブームがおこっています。今回の発表会ではそのブームを取り入れたプログラムをきいぐみさんとしろうぐみさんの子どもたちが考え、楽しく取り組んでいます。どのような発表になるか、今から楽しみです。

あかぐみさんにとっては初めての発表会。表現あそびやリズムあそびなど楽しく取り組んでいます。ホールの大きなステージが嬉しくて、練習のあとには「降りたくない!」とステージから降りるのを断固拒否する子も…(笑)当日はそんな楽しんでいる姿を見ていただければいいなと思っています。



コロナ禍のなかではありますが、保護者の皆様のご協力もあり、さまざまな行事も形を変えながら、なんとか行うことができています。日頃から理事長も皆様にお伝えしていますが、子どもたちの今はいましかありません。今できること、今しかできないことは、感染対策に留意し、見直し工夫しながら、これからも楽しく取り組んでいきたいと思っております。幼稚園主任